

環境と 呼吸する家

第70回 日本大学全国高等学校建築設計競技

主催 日本大学理工学部（東京都千代田区・千葉県船橋市）・日本大学生産工学部（千葉県習志野市）・日本大学工学部（福島県郡山市）・日本大学短期大学部（千葉県船橋市）

日本大学全国高等学校・建築設計競技審査会
審査員長 佐藤光彦

■視点

「すべての建築は、広い意味でリノベーションである」という言葉があります。一般的にリノベーションとは、既存の建築を改修することを指しますが、新築でもその敷地や隣接する建築物などにより環境を改変する（改修する）ことに違いはありません。たとえそれが周囲に何の建物もない自然の中であっても、その環境に手を加えるという意味では同じです。つまりすべての建築は、先行して存在する環境に対するリノベーションと捉えることができます。まず敷地を設定し、その場所の環境をよく観察し、設計者としてどのように関与し更新できるのかを考えてください。周囲の環境と呼吸しながら新たな環境を創造するような住宅のすがたを期待しています。



佐藤光彦（さとう・みつひこ）
日本大学理工学部建築学科教授

1962年	神奈川県生まれ
1986年	日本大学理工学部建築学科卒業
1986年～92年	伊東豊雄建築設計事務所
1993年	佐藤光彦建築設計事務所設立
2004年～06年	名古屋市立大学芸術工学研究科
2006年～	日本大学理工学部建築学科

担当した主な作品

仙川の住宅 [2000]、西所沢の住宅 [2001]、+A VIA BUS [2001]、sette-G [2009]、熊本駅西口駅前広場 [2011]、コマツナギテラス [2012]

受賞

1997年	平成8年度東京建築士会住宅建築賞（上馬の住宅）	2003年	JIA新人賞（西所沢の住宅）
1999年	平成10年度東京建築士会住宅建築賞（梅ヶ丘の住宅）	2004年	武蔵境新公共施設設計プロポーザル 佳作
2000年	平成11年度東京建築士会住宅建築賞（仙川の住宅）	2008年	くまもとアートポリス熊本駅西口駅前広場設計競技 最優秀賞
2001年	第17回吉岡賞（仙川の住宅）	2012年	第5回 建築九州賞 JIA特別賞（熊本駅西口駅前広場）
2001年	新富弘美術館国際設計競技 佳作	2012年	グッドデザイン賞2012（コマツナギテラス・熊本駅西口駅前広場）
2002年	JCD賞 優秀賞（+A VIA BUS）	2018年	旧門脇小学校震災遺構調査・基本設計プロポーザル 優先交渉権者
2002年	グッドデザイン賞（保土ヶ谷の住宅2）		

日本大学全国高等学校・建築設計競技委員会
委員長 佐藤慎也

■ごあいさつ

日本大学では、建築系の学科がある4学部（理工学部、生産工学部、工学部、短期大学部）6学科の共通事業として、毎年、日本大学全国高等学校・建築設計競技を実施してまいりました。本設計競技は、昭和28年に第1回全国工業高等学校設計競技として発足し、今年で第70回を迎えることができました。これもひとえに、ご参加いただいた高等学校、高等専門学校の生徒の皆様並びにご指導いただいた先生方によるご努力の賜物であると考えております。心より感謝申し上げます。また、日本大学といたしましても、本建築設計競技が高等学校における建築教育に微力ながらお役に立っているとするならば幸甚に存じます。本設計競技の第50回までは工業高等学校の生徒の皆様を対象に実施してまいりました。この実績を基盤として第51回からは建築系生徒の育成という役割と同時に、専門分野を越えて広く暮らし・住まいに関心のある若い世代への参加を促すとともに、第60回からは高等専門学校に在籍する3年次生にも門戸を開き、建築・都市・まちづくりから暮らしづくりへと志向するより多くの皆様に参加を呼びかけております。本年度は、若い方々らしいみずみずしい感受性と自発的な目標を抱いて、現在の暮らし・住まいを改めて見渡し、周辺の環境と呼応した「環境と呼応する家」の提案を募集いたします。高等学校、高等専門学校の先生方におかれましては、意欲と熱意のある生徒の皆様がご参加、ご応募くださいますよう、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

日本大学 理工学部建築学科（幹事校）
理工学部海洋建築工学科
理工学部まちづくり工学科
生産工学部建築工学科
工学部建築学科
短期大学部建築・生活デザイン学科

連絡先 〒101-8308
東京都千代田区神田駿河台1-8-14
日本大学理工学部建築学科教室内
日本大学全国高等学校・建築設計競技会事務局
E-mail : cst.arch.nu.hs.competition@nihon-u.ac.jp FAX : 03-3293-8253
担当：佐藤慎也・泉山盛威・二瓶士門・大川碧望・岡庭拓也・鷗海昂
公式SNS Facebook : <https://www.facebook.com/nu.hs.competition>
Instagram : <https://www.instagram.com/nu.hs.competition/>

すまいとまのていあん

建築設計競技

■テーマ

「環境と呼応する家」

■課題主旨

周辺の環境と呼応した住宅を設計してください。環境に配慮した建築のあり方は近年ますます重視されていますし、

持続可能な社会を目指すSDGsの世界的な取り組みについても皆さんはよくご存じでしょう。

しかし、今回の課題における「環境」はもう少し限定的な意味で用いています。

それは設計する場所や周囲にあるさまざまな事物のことです。

隣家のボリュームや窓、壁、屋根などの部分、植物や塀、道路などであり、そこで起きているさまざまなアクティビティも含まれます。

建築を設計するということは、その環境の中に注意深くかたちや寸法や素材などを決めて行くことだと思います。

たとえ小さな個人住宅であっても建築は社会的な存在であり、新たな環境を創造する力も持っているはずです。

敷地や規模、戸建か集合住宅かなどの条件は自由に設定してください。

その住宅を設計することで敷地周辺やその地域の環境を新たに定義し豊かにするような住宅の設計を期待しています。

■提出内容

居住者の構成、住居の形式は問わない。

敷地の場所や大きさは自由だが、どういう環境にあるのか、周辺環境の説明は必須とする。

構造、階数などは自由とし、法規制についても、常識の範囲内でかまわない。

居住者の構成、所要室なども各自の提案にしたがって、それぞれ設定すること。

下記の内容を、A1用紙1枚にまとめること。紙質・表現・仕上げは自由だがパネル化はしないこと。

応募者の氏名などを提出図面に記入してはならない。

- 1) 設計概要：設計および提案の主旨を600字程度にまとめる。提案内容にふさわしい作品タイトルをつけることが望ましい。
- 2) 配置図兼1階平面図：配置図には周辺との関係、外構計画を表現する。縮尺1/50～1/100。
- 3) その他の各階平面図：平面図には室名・寸法・家具などを記入する。室名などは、日本語表記のみでよい。縮尺1/50～1/100。
- 4) 断面図：1面以上。縮尺1/50～1/100。
- 5) 立面図：1面以上。縮尺1/50～1/100。
- 6) 全体外観図：模型写真でも可。ただし、模型は受けつけない。
- 7) その他：各自の提案内容を表現するために必要と思われる説明図、スケッチなどを描いて説明しても良い。

■応募資格

2023年4月現在、高等学校在籍の生徒、高等専門学校に在籍する3年次生までの生徒とする。応募は個人とする。

■応募案の取り扱い

- ・応募作品は未発表の作品に限る。
- ・本設計競技の応募作品の著作権は応募者に帰属するが、応募作品の発表に関する権利は主催者が保有する。
- ・応募作品は原則として返却しない。ただし、応募用紙に返却希望の記載がある作品については返却を行う。その場合、返却時期は主催者の判断によることとし、返送先は、応募時の宛先とする。

■応募方法

- ・応募フォームに必要事項を入力し送信。応募フォームに入力したメールアドレスに、フォームに入力した内容が送信されるので、メールを印刷し封筒に入れ、提出物と一緒に郵送する。
- ・応募フォーム <https://forms.gle/WuEcsUyEfQpEo8UXA>
- ・締切日 2023年8月31日（木） 当日消印有効
- ・提出先 〒101-8308 東京都千代田区神田駿河台1-8-14
日本大学理工学部建築学科教室内
日本大学全国高等学校・建築設計競技会事務局
E-mail：cst.arch.nu.hs.competition@nihon-u.ac.jp FAX：03-3293-8253

■審査員

審査員長	佐藤 光彦（理工学部建築学科）	
審査員	石田 優（短期大学部生活・デザイン学科）	田中 賢（理工学部まちづくり工学科）
	井本佐保里（理工学部建築学科）	廣石 秀造（理工学部建築学科）
	川嶋 勝（短期大学部生活・デザイン学科）	山岸 吉弘（工学部建築学科）
	佐藤 信治（理工学部海洋建築工学科）	山本 和清（理工学部海洋建築工学科）
	篠崎 健一（生産工学部建築工学科）	渡辺 康（生産工学部建築工学科）
	高橋 岳志（工学部建築学科）	

■賞

最優秀賞	1点	賞状、賞品（図書カード10万円）、副賞15万円
優秀賞	5点	賞状、賞品（図書カード各3万円）、副賞各5万円
佳作	5点程度	賞状、賞品（図書カード各2万円）
奨励賞	10点程度	賞状、賞品（図書カード各1万円）
		（賞状、賞品は応募者本人に、副賞は奨励金として応募者が在籍する学校に贈呈する。なお、優秀賞以上6点については、公開発表会参加のため、本人と引率教員の交通費を支給する。）

■審査

第1次審査は、審査会を開催し、優秀賞6点、佳作5点程度、奨励賞10点程度を選出する。

第2次審査は、公開による発表会を開催する。第1次審査で選出された優秀賞6点の応募者による発表を行い、最優秀賞1点を選出する。

発表を行う優秀賞受賞者には2023年9月23日（土）までに第1次審査結果を通知する予定。

■公開発表会（2次審査会）・表彰式・交流会

日時：2023年10月14日（土） 公開発表会は12時00分から

場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス 東京都千代田区神田駿河台 1-8-14

■発表

審査結果は、応募者の在籍する学校に直接通知する。電話などによる問い合わせには一切応じない。

また、入賞作品を公式SNSに掲載するとともに、作品集を応募者の在籍する学校に郵送する。

Facebook：https://www.facebook.com/nu.hs.competition

Instagram：https://www.instagram.com/nu.hs.competition/

■幹事校

委員長	佐藤 慎也（理工学部建築学科）	
委員	石田 優（短期大学部生活・デザイン学科）	佐藤 信治（理工学部海洋建築工学科）
	泉山 豊威（理工学部建築学科）	田中 賢（理工学部まちづくり工学科）
	井本佐保里（理工学部建築学科）	二瓶 士門（理工学部建築学科）
	大川 碧望（理工学部建築学科）	廣石 秀造（理工学部建築学科）
	岡庭 拓也（理工学部建築学科）	宮崎 渉（工学部建築学科）
	鷗海 昂（理工学部建築学科）	矢代 眞己（短期大学部生活・デザイン学科）
	川嶋 勝（短期大学部生活・デザイン学科）	山本 和清（理工学部海洋建築工学科）
	北野 幸樹（生産工学部建築工学科）	吉村 凌（短期大学部生活・デザイン学科）
幹事校	理工学部建築学科	